

## 平成29年度事業報告

自 平成29年 4月 1日  
至 平成30年 3月31日

印刷図書館は、平成29年3月に財団設立70周年を迎えました。設立以来、「印刷文化に貢献すること」を目的に、印刷の唯一の専門図書館として、資料閲覧などの日常業務を進めるとともに、後世に残すべき貴重な印刷文化資料の保存にも努めてきました。

平成29年度の事業運営にあたりましては、一般財団法人としての公益役割を踏まえつつ、専門図書館としての一般公開及びサービス、利用者への蔵書の紹介・検索、情報の提供とともに、平成29年度「事業計画」に基づき、70周年記念事業の積極的な推進に努めました。

本年度の各事業の実施状況を報告するに当たり、下記のとおり、印刷図書館の事業体系に沿ってご報告いたします。

### 印刷図書館の事業体系

- 【公益目的事業】**
1. 図書館運営事業
    - (1) 専門図書館としての一般公開及びサービス
    - (2) 図書、資料の収集・整理
    - (3) 利用者への蔵書の紹介・検索、情報の提供
    - (4) 関連機関との相互協力
  2. 広報活動事業
    - (1) 受入れ資料のデータベース化
    - (2) インターネットへの蔵書データの更新
    - (3) ホームページを通しての新刊情報の紹介
    - (4) ホームページを通しての財団活動報告等
- 【その他事業】** 70周年記念事業の推進
- 【運営管理業務】** 理事会及び定時評議員会の開催

# 事業報告

## 【公益目的事業】

### 1. 図書館運営事業

#### (1) 専門図書館としての一般公開及びサービス

##### ① 利用状況

当図書館の利用にあたっては、会費を納めている法人（維持会員）は無料、それ以外は、一般利用600円、学生200円としている。

利用者の多くが印刷業界並びに関連業界であるが、一般利用者の特徴として、シンクタンクやコンサルティングサービス会社による印刷業界の動向及びデータ収集の利用が多い。また、今年度は、例年に比べ学生の利用が少なかった。

平成29年度における利用者総数は239名、内訳は次のとおりである。

(単位：名)

維持会員	一般会員	学生	合計
180	57	2	239

##### ② 閲覧分野

一番多く閲覧された分野は、例年同様、印刷業界の分析資料で、全体の約4割を占める。それ以外の閲覧については幅広く閲覧され、中でも、明治時代の書体見本等の貴重資料については、実物を直に触れることができるため、書体研究家等に好評である。

平成29年度における閲覧分野の大まかな内訳は次のとおりである。

(単位：件／複数回答)

市場分析 動向・統計	技術・経営 料金・管理	社史・組合史 歴史・人物伝	学会要旨 国内外論文	明治・大正 昭和初期史料	他 (叙勲等)
100	48	30	25	40	15

### ③ 貸出業務及びコピーサービス

#### ア 貸出業務

貸出については、維持会員のみ可能で、2週間で5冊としている。ただし、貴重資料並びに、最新データについては、館外貸出を行っていない。今年度における貸出状況は次のとおりである。

(単位：点)

市場分析 動向・統計	技術・経営 料金・管理	社史・組合史 歴史・人物伝	学会要旨 国内外論文	明治・大正 昭和初期史料	雑誌 他
21	22	8	4	14	14

#### イ コピーサービス

コピー総数1,431枚のうち約半枚は、市場分析及び統計資料のコピーで全体の5割を占める。

今年度におけるコピーの利用状況及びパソコン利用は次のとおりである。

(単位：コピー／枚、PC／名)

白黒コピー枚数 (@50円)	カラーコピー枚数 (@100円)	私物PCへの入力 (@400円)
1,290枚	141枚	2名

### (2) 図書、資料の収集・整理

図書、資料の収集にあたっては、印刷関連の発行状況を常に把握し充実を図ったほか、バックナンバーの欠号補充にも努めた。

今年度における受入資料の総数は901点、区分の内訳は次のとおりである。

《平成 29 年度 受入資料の区分》

(単位：点)

区分	点数	資料紹介
プリプレス	6	文字の歴史館
印刷技術	3	フォーム印刷業界の現状と課題
後加工	2	日本のラベル市場
印刷資材／印刷機械	1	機能紙研究会誌
技術一般／料金／出版／法令 環境／経営	5	印刷産業における環境関連法規集
名簿／業界イベント／図録	19	カレンダー年鑑、各種名簿
市場分析、動向、統計	27	出版月報、矢野経済研究所の分析資料 印刷白書、産連データ、オフ輪年報
調査研究報告書	4	わが国印刷産業機械の海外市場戦略に関する報告
研究論文、セミナー要旨	16	学会主催の各種セミナー要旨
学会誌	22	印刷、画像、写真、メディア学会誌等
印刷会社社史	1	共同印刷 120 年史
組合史・団体史	1	日本印刷産業機械工業会 80 年史
国内雑誌類	222	20 誌（月刊、隔月、季刊発行）
業界新聞	323	10 紙（週刊、月 2、月 3 発行）
会報、機関誌等	249	60 誌（月刊、季刊、年刊発行）
合計	901	

(3) 利用者への蔵書の紹介・検索、情報の提供

印刷図書館のような専門図書館の利用者は、探す資料内容もかなり細くなるため、よりニーズに対応できるよう、資料は特集記事ならびに注目記事をデータベース化し、資料情報の提供に努めた。

また、当館で該当資料が見つからなかった場合は、他の機関にも問い合わせをし、所蔵の有無を確認し対応した。

(4) 関連機関との相互協力

業界団体や公的機関との連携・協力を積極的に取り組んだ。

## 2. 広報活動事業

当館の広報活動は、主にホームページを通して実施しており、蔵書データの更新、新刊情報の紹介、財団活動等を、その都度発信し、広報活動に努めた。なお、平成29年度のホームページのアクセス件数は次のとおりである。

・アクセス件数 (期間：平成29年4月～平成30年3月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
閲覧数	879	869	1037	936	960	764	952	850	649	667	579	664

・ユーザーの比率 (期間：平成29年4月～平成30年3月)

新規ユーザー	リピーター
88.6%	11.4%

### (1) 受入れ資料のデータベース化

今年度の受入れ資料901点すべてを、蔵書管理システムへデータベース化した。入力事項は、基本の書誌データ(タイトル、発行元、発行年、体裁)以外に、特集記事も入力し蔵書管理に努めた。

### (2) インターネットへの蔵書データの更新作業

入力したデータは、速やかにインターネットへデータ転送し、ホームページの[蔵書検索]機能の充実と、情報公開に努めた。

### (3) ホームページを通しての新刊情報の紹介

受入れ資料のうち、定期刊行物以外の図書、報告書類については、ホームページの[新刊情報]に、表紙画像とともに主要目次を掲載し紹介した。今年度の掲載件数は18件だった。

### (4) ホームページを通しての財団活動報告、その他

理事会及び定時評議員会に関する報告を行った。

## 《その他事業》

### 70周年記念事業の推進

印刷図書館は、平成29年3月に財団設立70周年を迎えた。その周年事業として、印刷文化を幅広く伝えることを目的に、平成29年9月に、2万点を超える所蔵資料の中から、主要な印刷文化資料の図版と蔵書目録や印刷図書館の歴史などを併せて収録した『印刷図書館コレクション』を刊行した。

刊行後は、業界内だけでなく、全国の文化・芸術および関連の専門情報機関・研究機関へ広く配布・頒布して、印刷文化の発信、並びに印刷図書館さらには印刷産業に対する理解の促進に努めた。

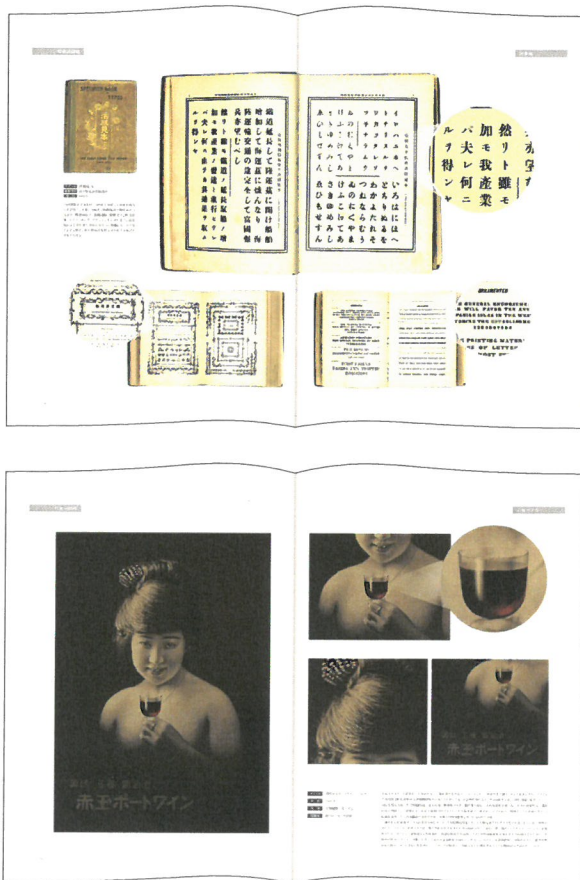
また、同誌の発行に加えて、印刷図書館のこれからの役割・機能を再整理するとともに、これからの活動計画や関連する団体等との連携・協力関係などを検討する「将来展望検討プロジェクト」を立ち上げ、方向性を探った。

#### (1) 『印刷図書館コレクション』の編集・刊行



70周年記念誌の編纂については、当初、平成28年度に着手し、平成29年3月の発行を目標に企画してきた。この企画では、すでに撮影済みのポスター類のみを掲載する簡易な編集物を想定していたが、ポスター類などの図版のみを掲載するのではなく、図書館の持つ貴重資料の蔵書目録や、図書館の歴史などを併せて収録するとともに、印刷図書館の活動内容も紹介する『印刷図書館コレクション』として編集していくこととした。そのため、本事業は、平成29年度事業に引き継ぎ、実施することとした。

なお、事業費については、平成28年度では、図録の作成費のみ170万円を見込んでいたが、平成29年度予算にて見直しをした結果、本誌の制作費およびそのPR活動費として450万円を見積った。当予算を計上するにあたり、当財団の基本財産3,830万円から、70周年記念事業活動費として450万円を取崩すこととし、平成29年3月22日開催の理事会にて承認された。



編集内容は、2万点を超える所蔵資料の中から、明治36年に東京築地活版製造所から発行された『活版見本』(左上図)をはじめ、紙幣局活版部や秀英舎(現・大日本印刷)の活版見本帳、日本初の印刷専門誌『印刷雑誌』の創刊号(明治24年)、さらに、『赤玉ポートワイン』(左下図)に代表される日本のポスター史を語る上で欠かせない石版ポスターなど、他ではなかなか見ることができない貴重な資料を掲載した。

さらに、資料の対象は国内だけでなく、19世紀から20世紀にかけてイギリスやドイツで刊行された印刷年鑑などの洋書も掲載し、なかでもグーテンベルクが1460年に印刷したとされる

『カトリコン』(一葉のみ所蔵)は、インキュナビュラ(最初期の活版印刷本)として知られ、印刷・出版史を語る上でも大変貴重な資料も掲載した。その他、各種印刷技術書はもちろんのこと、日本印刷学会や日本画像学会による最新の研究成果を掲載した学会誌、調査報告書や統計資料、さまざまな印刷関連企業が刊行した社史のコレクションも掲載した。

## (2) 出版パーティーの開催

印刷図書館の設立から今日まで、ご支援ご協力賜っている印刷業界並びに関連団体より90名以上の方にご出席いただき、平成29年10月26日に、如水会館にて、70周年記念誌『印刷図書館コレクション』の出版パーティーを開催した。会場では、代表的な石版ポスターの展示と併せて、大型モニターにて記念誌の掲載内容を紹介した。

### (3) 全国の文化・芸術および関連の専門情報機関・研究機関へ贈呈

当記念誌に掲載した『壽屋赤玉ポートワインポスター』(大正11年)や『月桂冠ポスター』(昭和11年)の関係先であるサントリー文化財団、月桂冠大倉記念館をはじめ、掲載内容に関連のある全国の文化機関、美術館、図書館等160機関余りへ謹呈した。

頂いた礼状の中に、「図書館にとって欠かせない印刷ですが、その貴重な資料が図版として美しく掲載されているだけでなく、印刷関係の主要図書リストが収載されており、大変役立つ資料です」(日本図書館協会資料室)とあった。

また、当初、謹呈先に選択しなかった東京大学史料編纂所図書館からは、「日本国内の史料に関する研究のために、『印刷図書館コレクション』を寄贈願います」との依頼を受け、速やかに謹呈した。

### ④「将来展望検討プロジェクト」の発足

社会・経済が激変する中、印刷産業が発展していくために、印刷図書館にも新たな役割が求められていると考え、まず、現状の把握を行い、そして、今後の果たす役割や、新展開の方向性をさぐるプロジェクトを3回開催した。検討内容は次のとおりである。

- ・貴重資料の保存方法の見直し、複製の検討
- ・印刷関連資料バックナンバーの保管先のデータベース化
- ・ホームページ[蔵書検索]機能の周知と、情報公開性の高度化を図る
- ・印刷図書館PRのための石版ポスターの積極的活用
- ・業界団体や公的機関との連携・協力
- ・後世に残すべき先達の話をもとめる(過去に史談会開催)
- ・上記を推進するためのアドバイザーボードの創設

今後、このプロジェクトを招集して、印刷図書館の活性化に努めることとした。



## 《運営管理業務》

### 理事会・定時評議員会の開催

平成29年度における開催状況は、次のとおりである。

#### (1) 平成29年度 定時評議員会

- ・開催日時 平成29年6月14日 午後2時～2時半
- ・開催場所 ホテルニューオータニ 翔の間
- ・出席者 評議員24名中14名  
理事16名中15名、監事2名中1名
- ・決議事項 ・平成28年度計算書類承認の件  
・理事1名選任の件 ・評議員1名選任の件
- ・報告事項 平成28年度事業報告の件

#### (2) 平成29年度第1回 理事会（書面決議による理事会）

- ・理事会の決議があったとみなされた日／平成29年5月12日
- ・理事会決議があったとみなされた事項の内容
  - ・平成28年度事業報告並びに決算の件
  - ・平成29年度定時評議員会の開催日の件

#### (3) 平成29年度第2回 理事会

- ・開催日時 平成30年3月22日 午後2時～2時30分
- ・開催場所 日本印刷会館 201会議室
- ・出席者 理事16名中13名、監事2名中1名
- ・決議事項 平成30年度事業計画並びに予算の件
- ・報告事項 公的目的支出計画の実施完了について

#### (付記) 事業報告に係る附属明細書について

事業報告に関して、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定されている附属明細書により、その内容を補足すべき重要な事項はないので附属明細書は作成していない。

以 上